

iPadを活用したコミュニケーション支援研修会

会場：複合施設つがハウス

住所：帯広市西9条南9丁目14-2

アクセシビリティがあなたの生活をより良くする

iPadアクセシビリティ活用術

2023年10月1日（日）

13:30～14:30 セミナー、14:40～16:00 体験・質疑応答

定員：会場 20名（定員になり次第締切） 参加費：2,000円

対象者：

難病患者、障害者児などの支援をしている医療者、介助者、当事者、家族、学生、ボランティア等、コミュニケーション支援に興味のある方

内容：

アクセシビリティとは？、iPadに見るさまざまなアクセシビリティ機能、日常生活をより便利にする仕組み、身体が動かしづらい・声が出しづらい時のコミュニケーション手段 事例紹介

体験相談会：

iPadをスイッチ・視線・音声などで操作し、家電やベッドの操作をしたり、メッセージやLINEの送受信、コミュニケーションを広げる仕組みを体験。

参考書籍



講師



高尾洋之（たかおひろゆき）

東京慈恵会医科大学 先端医療情報技術研究部、准教授。
臨床において脳血管障害と網膜芽細胞腫の希少疾患治療などに取り組む一方、ICT医療の推進による臨床効果・医療経済効果などを研究。
2018年8月14日にギラン・バレー症候群に罹患。4カ月間意識不明、目が覚めた時には四肢麻痺で目しか動かせなかった。現在リハビリ回復中。デジタル医療とアクセシビリティの研究をしている。



高橋宜盟（たかはしよしあき）

iPadで使うコミュニケーションアプリ「指伝話」開発販売元の有限会社 オフィス結アジア代表取締役。
2021年10月から慈恵医大の訪問研究員としてアクセシビリティプロジェクトで活動中。一般社団法人結ライフコミュニケーション研究所でアクセシビリティとコミュニケーションの大切さを伝える活動を続けている。

主催：



NPO法人iCareほっかいどう

Email: jimu@icare-h.com

063-0826 札幌市西区発寒6条10丁目10-13アイビル12-203

共催：

まち・らぼ暮らしの保健室

(お申し込み先)

携帯 080-4331-5630 (暮らしの保健室 黒柳)

協力：東京慈恵会医科大学先端医療情報技術研究部

助成：年賀郵便助成、日本財団

